

競技審判マニュアル改正点一覧表(2011.05.23)

No	項目・競技種目	改正前	改正後								
1	総論	<p>P.6.2. 競技会までの準備</p> <p>(1)開催日・開催場所の検討</p> <p>地元関係者諸機関、協力クラブ、競技運営委員会との入念な話し合いにより決定する。地元年間行事に留意し、特に海での開催の場合、漁業組合、海水浴場組合、サーフィン組合などと綿密に書面にて取り決めをする。</p> <p>P.8 表 配置表</p> <table border="1" data-bbox="365 485 1240 635"> <thead> <tr> <th data-bbox="365 485 539 533">項目</th> <th data-bbox="539 485 1240 533">確認事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="365 533 539 635">配置表</td> <td data-bbox="539 533 1240 635">競技会審判員、スタッフの配置は、原則として審判長または競技運営委員が行う。</td> </tr> </tbody> </table> <p>P.9</p> <p>(7) 代表者会議の開催</p> <p>実行委員長、競技運営委員及び審判長により開催され、原則として、競技会前日に行われる。</p> <p>式次第は、実行委員長もしくは審判長挨拶および競技会における確認事項(競技、会場などについて)、事務局からの確認事項、質疑応答、海での競技会の場合はオーシャンマン/オーシャンウーマン、オーシャンマンリレー/オーシャンウーマンリレーの種目順の抽選が行われる。また、審判長が必要と判断した場合、競技種目ごとの出場確認を行い、この作業の後「組み合わせ表(ドロー表)」を作成する。</p> <p>P11.</p> <p>&lt;プール競技&gt;</p>	項目	確認事項	配置表	競技会審判員、スタッフの配置は、原則として審判長または競技運営委員が行う。	<p>&lt;変更&gt;P6. 2 競技会までの準備</p> <p>(1)開催日・開催場所の検討</p> <p>地元関係者諸機関、協力クラブ、<u>競技運営・審判委員会</u>との入念な話し合いにより決定する。地元年間行事に留意し、特に海での開催の場合、漁業組合、海水浴場組合、サーフィン組合などと綿密に書面にて取り決めをする。</p> <p>P.8 表 配置表</p> <table border="1" data-bbox="1272 485 2148 635"> <thead> <tr> <th data-bbox="1272 485 1447 533">項目</th> <th data-bbox="1447 485 2148 533">確認事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1272 533 1447 635">配置表</td> <td data-bbox="1447 533 2148 635">競技会審判員、スタッフの配置は、原則として審判長または<u>競技運営・審判委員</u>が行う。</td> </tr> </tbody> </table> <p>P.9</p> <p>(7) 代表者会議の開催</p> <p>実行委員長、<u>競技運営・審判委員</u>及び審判長により開催され、原則として、競技会前日に行われる。</p> <p>式次第は、実行委員長もしくは審判長挨拶および競技会における確認事項(競技、会場などについて)、事務局からの確認事項、質疑応答、海での競技会の場合はオーシャンマン/オーシャンウーマン、オーシャンマンリレー/オーシャンウーマンリレーの種目順の抽選が行われる。また、審判長が必要と判断した場合、競技種目ごとの出場確認を行い、この作業の後「組み合わせ表(ドロー表)」を作成する。</p> <p>&lt;追加&gt;P11.</p> <p>&lt;プール競技&gt;</p> <p>(4)エントリー標準タイムが設定されている場合、タイムの申告されていない種目については出場できない。</p>	項目	確認事項	配置表	競技会審判員、スタッフの配置は、原則として審判長または <u>競技運営・審判委員</u> が行う。
項目	確認事項										
配置表	競技会審判員、スタッフの配置は、原則として審判長または競技運営委員が行う。										
項目	確認事項										
配置表	競技会審判員、スタッフの配置は、原則として審判長または <u>競技運営・審判委員</u> が行う。										

		<p>P19.</p> <p>③ビーチ種目審判員の配置 ※()内はビーチフラッグスエリア 2 面の場合</p> <table border="1" data-bbox="365 240 1234 440"> <tr> <td>競技別審判長(セクショナルレフリー)</td> <td>1名(必要に応じて)</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>ビデオ審判員</td> <td>1～2名(2～4名)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20～30名(27名～39名)</td> </tr> </table> <p>(2)プール競技(8コース設定)</p> <table border="1" data-bbox="365 539 1234 783"> <tr> <td>上訴審判員</td> <td>1～2名(審判長が兼任できる)</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>機械審判員</td> <td>2～3名(業者委託あり)</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>59～71名</td> </tr> </table>	競技別審判長(セクショナルレフリー)	1名(必要に応じて)	略	略	ビデオ審判員	1～2名(2～4名)	合計	20～30名(27名～39名)	上訴審判員	1～2名(審判長が兼任できる)	略	略	機械審判員	2～3名(業者委託あり)	略	略	合計	59～71名	<p>P19.</p> <p>③ビーチ種目審判員の配置 ※()内はビーチフラッグスエリア 2 面の場合</p> <table border="1" data-bbox="1256 240 2139 440"> <tr> <td>競技別審判長(セクショナルレフリー)</td> <td>1名(必要に応じて)</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>ビデオ審判員</td> <td>3～5名(4～5名)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22～33名(28名～40名)</td> </tr> </table> <p>2)プール競技(8コース設定)</p> <table border="1" data-bbox="1256 539 2139 783"> <tr> <td>上訴審判員</td> <td>1～2名(審判長が兼任できる)</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>機械審判員</td> <td>5～6名(業者委託あり)</td> </tr> <tr> <td>略</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td><b>62～73名</b></td> </tr> </table>	競技別審判長(セクショナルレフリー)	1名(必要に応じて)	略	略	ビデオ審判員	3～5名(4～5名)	合計	22～33名(28名～40名)	上訴審判員	1～2名(審判長が兼任できる)	略	略	機械審判員	5～6名(業者委託あり)	略	略	合計	<b>62～73名</b>
競技別審判長(セクショナルレフリー)	1名(必要に応じて)																																						
略	略																																						
ビデオ審判員	1～2名(2～4名)																																						
合計	20～30名(27名～39名)																																						
上訴審判員	1～2名(審判長が兼任できる)																																						
略	略																																						
機械審判員	2～3名(業者委託あり)																																						
略	略																																						
合計	59～71名																																						
競技別審判長(セクショナルレフリー)	1名(必要に応じて)																																						
略	略																																						
ビデオ審判員	3～5名(4～5名)																																						
合計	22～33名(28名～40名)																																						
上訴審判員	1～2名(審判長が兼任できる)																																						
略	略																																						
機械審判員	5～6名(業者委託あり)																																						
略	略																																						
合計	<b>62～73名</b>																																						
2	審判法	<p>P27.</p> <p>(2)手順</p> <p>⑥不正スタートがあった場合、再スタートをする。</p> <p>P33.</p> <p>(3)留意事項</p> <p>③必要に応じて、着順札を競技者に渡した後、順番に整列させる。</p>	<p>P27.</p> <p>(2)手順</p> <p>⑥不正スタートがあった場合、<u>再スタートをするか瞬時に判断をする。</u></p> <p>P33.</p> <p>(3)留意事項</p> <p>③必要に応じて、着順札を競技者に渡した後、<u>順番に整列させ、順位を確定させてから競技別記録員に引き継ぐ。</u></p> <p>〈追加〉P38</p> <p><u>13. ビデオ審判員</u></p> <p><u>(1)任務 競技の判定の補助として活用する。着順判定やコースの通過など適正に競技が行われているかのポイントを記録する。</u></p>																																				

	<p>P118</p> <p>1. 200m(100m)障害スイム</p> <p>(5)留意点</p> <p>③マネキンチームは、競技者が各障害のネット下を潜る際、手や頭部等で障害ネットを故意に押し上げて通過していないかを確認する。</p> <p>P120</p> <p>2. 50mマネキンキャリー</p> <p>(5)留意点</p> <p>②泳法審判員は、競技者がマネキンを運んでいる際に、マネキンの喉、口、鼻を掴んでいないか確認する。また、マネキンの口と鼻が水没していないかを確認する。</p>	<p>(2)留意事項</p> <p>①着順判定やコース通過の記録には、フィニッシュラインと競技者がどの位置から、もしくは競技者が重なってフィニッシュラインを通過しても記録できる位置から撮影を行う(斜め上方など)。</p> <p>②ビデオ判定室を設定する場合は、その設備の扱いなど経験者を付ける必要がある。</p> <p>③ビデオ撮影で逆光に十分気をつける必要がある。</p> <p>④雨の場合は、器材をぬらさないよう工夫が必要である。</p> <p>⑤ビーチフラッグスはスタート全体とバトン側からは競技者の様子全体を記録する。</p> <p>〈追加〉P115</p> <p>14. ビデオ審判員</p> <p>(1)任務 競技の判定の補助として活用する。エリアの通過、マネキンの保持や引継ぎなど適正に競技が行われているかのポイントを記録する。</p> <p>(2)留意事項</p> <p>①エリア通過の記録には、競技者がコースや規定ラインの通過がはっきりと見えるところで固定する。</p> <p>②マネキンの保持などの記録は、競技者とともに移動したり、対象競技者が記録できるよう配慮する。</p> <p>③引継ぎの記録には、対象コース全体の引継ぎが確認できるよう留意する。</p> <p>P118</p> <p>1. 200m(100m)障害スイム</p> <p>(5)留意点</p> <p>③マネキンチームは、競技者が各障害のネット下を潜る際、手や頭部等で障害ネットを故意に押し上げて通過していないかを確認する。(削除)</p> <p>P120</p> <p>2. 50mマネキンキャリー</p> <p>(5)留意点</p> <p>②泳法審判員は、競技者がマネキンを運んでいる際に、マネキンの喉、口、鼻を掴んでいないか確認する。また、マネキンの口または鼻が水没していないかを確認する。</p>
--	--	---

	<p>P122</p> <p>3. 100mレスキューメドレー</p> <p>(5)留意点</p> <p>③泳法審判員は、競技者がマネキンを運んでいる際に、マネキンの喉、口、鼻を掴んでいないか確認する。また、マネキンの口と鼻が水没していないかを確認する。</p> <p>P127</p> <p>4. 100mマネキントウ・ウィズフィン</p> <p>(5)留意点</p> <p>②計時員(着順審判員)は競技者に使用するレスキューチューブの本体、ストラップに異常がないか確認させる。競技者より異常の申し出があれば速やかに予備のチューブに交換する。</p> <p>⑤泳法審判員は、マネキンの鼻、口が水没していないか競技者がゴールするまで観察する。</p> <p>P131</p> <p>6. 200mスーパーライフセーバー</p> <p>(5)留意点</p> <p>⑩泳法審判員は、マネキンの鼻、口が水没していないか競技者がゴールするまで観察する。</p> <p>P136</p> <p>8. 4×25mマネキンリレー</p> <p>(5)留意点</p> <p>②泳法審判員はスタートからゴールするまで、マネキンの鼻、口が水没していないか確認する。またチェンジオーバーゾーン内で第1競技者から第2競技者(第3競技者から第4競技者)へ正しくマネキンの受け渡しが行われたか確認する。</p>	<p>P122</p> <p>3. 100mレスキューメドレー</p> <p>(5)留意点</p> <p>③泳法審判員は、競技者がマネキンを運んでいる際に、マネキンの喉、口、鼻を掴んでいないか確認する。また、マネキンの口または鼻が水没していないかを確認する。</p> <p>P127</p> <p>4. 100mマネキントウ・ウィズフィン</p> <p>(5)留意点</p> <p>②計時員(着順審判員)は競技者に使用するレスキューチューブの本体、ストラップに異常がないか確認させる。競技者より異常の申し出があれば速やかに予備のチューブに交換する。<u>競技者がスタートをする場合、レスキューチューブと紐は競技者の判断で指定されたコース内に位置させる。なお、競技者が安全にスタートできるようにレスキューチューブの紐がスタート台等に巻きつかないような体勢をとっているかを確認する。</u></p> <p>⑤泳法審判員は、<u>マネキンの鼻または口が水没していないか</u>競技者がゴールするまで観察する。</p> <p>P131</p> <p>6. 200mスーパーライフセーバー</p> <p>(5)留意点</p> <p>⑩泳法審判員は、<u>マネキンの鼻または口が水没していないか</u>競技者がゴールするまで観察する。</p> <p>P136</p> <p>8. 4×25mマネキンリレー</p> <p>(5)留意点</p> <p>②泳法審判員はスタートからゴールするまで、<u>マネキンの鼻または口が水没していないか</u>確認する。<u>なお、チェンジオーバーゾーン内は除外する。またマネキンの受け渡しの際、次の競技者がマネキンを掴む前に、前の競技者がマネキンを離していないかを確認する。(一方の手がいつもマネキンに触れていなければならない)</u></p>
--	---	---

	<p>P142</p> <p>10. ラインスロー</p> <p>(5)留意点</p> <p>①競技がプールの両サイドで行われる場合、スターターはチェックスターターと連携し正しい姿勢になっていることを確認しスタートの合図を出すようにする。</p> <p>②泳法審判員は、溺者役がスローラインに触れる前に、クロスバーの指定されたマークから離れていないかを確認する。</p>	<p>P142</p> <p>10. ラインスロー</p> <p>(5)留意点</p> <p>①競技がプールの両サイドで行われる場合、スターターはチェックスターターと連携し<u>救助者及び溺者役が正しい姿勢になっていることを確認しスタートの合図を出すようにする。(救助者…“気をつけ”の姿勢でスローラインの端を折り曲げたりすることなく握っていることを確認する。溺者役…クロスバーの指定されたマークとスローラインを一方の手で握る。または、片方の手でクロスバーの指定されたマーク、もう片方の手でスローラインを握っているかを確認する。)</u></p> <p>②泳法審判員は、溺者役がスローラインに触れる前に、クロスバーの指定されたマークから離れていないかを確認する。<u>また溺者役がスローラインを自分のコース内(空中、水中 可)で掴んでいるかを確認する。</u></p>
--	---	--